5年生

ビデオ感想カード
『名前…それは燃えるいのち』

子どもの感想
ビデオを見て、思ったことや考えたことなどを書きましょう。

5年

名前は、一人ひとりに付けられた大切な物だから、大切にしようと思いました。あだ名で呼ばれたら、言われた方は、すごくいやな気持ちになるし、その人の名前を大切にしていない事になると思いました。

最後の方で、先生が「それがわたし、わたしはわたし」と言われて本当にその通りだなと思いました。一人ひとりちがって当たり前だから、山本さんのおじいさんみたいに自分自身にほこりを持って生きていきたいなと思いました。そして自分の名前も、人の名前も大切にしたいです。そのために、ちゃんと「さん」付けをしたり、あだ名でよばないようにしたいです。

顔や国、考え方はみんなちがうから、「みんなちがってみんないい」だなと思いました。

5年生

ビデオ感想カード
『名前…それは燃えるいのち』

子どもの感想
ビデオを見て、思ったことや考えたことなどを書きましょう。

5年

単なるあだ名だけど、相手をきずつけることもあるということをあらためて思いました。ビデオに出てきた人の名前には、ちゃんと思いや願い、意味があったのでわたしも、家に帰ったら聞いてみようかなと思いました。

ビデオの中に出てきた新しい先生が言っていた「世の中にはいろんな人がいるからおもしろい」はたしかにそうだなと思いました。みんな同じような性かくや顔、名前だったらつまらないと思いました。四字じゅく語の十人十色「十人いたらその十人ちがう考え方(色)を持っている」だなと思いました。

わたしはこれから自分の名前を大切にして、友達の名前も大切にしていきたいと思いました。

6年生

ビデオ感想カード
『未来への虹 ぼくのおじさんはハンセン病』

子どもの感想
ビデオを見て、思ったことや考えたことなどを書きましょう。

6年

ハンセン病にかかった人がどんなに苦しんでいたかよくわかりました。正たが言っていたことはその通りだと思います。りょうようしょにいれられた保治さんやその他の方々がどんなに差別やへん見に苦しんだかよく分かりました。人々の心の中に差別というものがあるなら自分の心の中から差別という物をなくしたいです。こう議をしただけで部屋に閉じこめられるなんて、信じられませんでした。なぜ外国では、完全に治ったら解放されるのに、日本ではそれができなかったかが分かりませんでした。なぜ何も悪いことをしていないのにへん見や差別をされなきゃいけないのと思いました。まだこの世界に差別される人がいるんだとしたら私達で苦しんでいる人に寄りそって差別やへん見をなくしていきたいです。かん者さんに希望の光をあげたいです。

6年生

ビデオ感想カード
『未来への虹 ぼくのおじさんはハンセン病』

子どもの感想
ビデオを見て、思ったことや考えたことなどを書きましょう。

6年

私はハンセン病は、知りませんでした。でもこのビデオを見て病気なのに仕事をしたり、さべつをされてきたんだと思いました。手足、顔ではいけんだけで、さべつをするのは悲しいです。ハンセン病は、自分もさべつをされるけど、その家族も、さべつをされるのはいけないと思いました。家を消毒をして、みんなに、この人には近づくなと言っていると思いました。ハンセン病はうつらないとわかっても、療養所にいれられ、自由がなくなってしまってかなしくなりました。病気をしてつらくていにげだしただけなのに、おりにいれたり、かこくな目にあわせるのはいけないとすごいひどいと思いました。ハンセン病にかかった人は、一生、ふるさとにかえれず、亡くなってからも、療養所にいるのは、すこしでもふるさとに帰ってほしいと思いました。国がまちがっていたことを認めるのがおそいなと思いました。この法律により、たくさんの人をくるしめたのに…と思いました。これからはへんけんできなさべつがなくなったらいいと思いました。